

自動車リサイクル促進センター 独立行政法人 国際協力機構 (JICA) 発行のソーシャルボンドに投資 ～ 持続可能な社会の実現に貢献 ～

公益財団法人自動車リサイクル促進センター(所在地:東京都港区、代表理事:中村崇)は、本日、独立行政法人 国際協力機構(以下「JICA」)が発行するソーシャルボンドに投資を行いました。

JICAが発行するソーシャルボンドで調達された資金は、全額がJICAの実施する有償資金協力業務に充てられ、開発途上国の社会課題を解決するための出融資に活用されます(但し、石炭火力発電事業への出融資を除きます)。主な出融資対象は、新型コロナウイルス感染症危機対応支援(保健医療体制強化、公衆衛生環境の改善)、脱炭素社会への移行及び気候変動に強靱な社会の構築支援(インド:デリー高速輸送システム建設事業)、中小企業の海外展開及び外国人材受入支援による地域経済活性化を目的としたプロジェクト等です。有償資金協力業務の案件については外部の評価者による事後評価が行われ、評価結果はJICAのウェブサイト上で公開されます。

現在、ESG投資は、パリ協定やSDGs(持続可能な開発目標)の採択など、国際社会が持続可能な社会の実現に向けた取組みを進めていくとした潮流や、環境省による「グリーンボンドガイドライン」の策定を背景として、国内外で拡大しています。

本財団はこれまでも、日本国内における循環型社会の実現に関する各種事業を行い、使用済み自動車の適正処理のために自動車ユーザーからお預かりした9,353億円(2021年3月末時点)のリサイクル料金の管理・運用を通して、環境や地域・社会と共生し、SDGsに関する持続可能な社会へと安定的な成長を共有していく観点から、環境課題や社会課題の解決に資するESG投資を方針^{*1}に基づき行っており、毎年その規模を拡大しています。そして、公益法人におけるESG投資のトップランナーとして、日本のESG債市場の発展に寄与すべく、発行体とのエンゲージメント(建設的な対話)^{*2}についても積極的に取り組んでいるところです。

本財団は、ESG投資が日本国内における資源の有効な利用の向上及び環境の保全に取り組んでいただくきっかけの一つになればと考えており、今後も持続可能な社会の実現に向けて社会的責任を果たしていきます。

*1 JARCのESG投資の方針 <https://www.jarc.or.jp/automobile/designated-corp/fund/esg/>

*2 発行体とのエンゲージメント <https://www.jarc.or.jp/automobile/designated-corp/fund/engagement/>

【本債券の概要】

債券名	第 59 回国際協力機構債券
年限	10 年
発行日	2021 年 6 月 29 日
発行総額	100 億円
JICA ウェブサイト	https://www.jica.go.jp/index.html

【公益財団法人自動車リサイクル促進センター（JARC）の概要】

所在地	〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館 11 階	
設立	2000 年(平成 12 年)11 月 22 日	
理事長	なかむら たかし 中村 崇	
事業内容	自動車のリサイクル及び適正処理の促進に関する各種取組	
自動車リサイクル法 指定法人業務の主務官庁	経済産業省、環境省	
JARC ウェブサイト	https://www.jarc.or.jp/	

(メディア関係者様のお問い合わせ先)

公益財団法人自動車リサイクル促進センター
 広報・理解活動推進部
 電話 : 03-5733-7144